

# 公益社団法人日本新体操連盟

## 令和2年度第1回総会議事録

1. 会議名： 令和2年度第1回総会
2. 日時： 令和2年6月25日（木）15時00分～16時00分
3. 場所： Web会議
4. 構成員現在数： 21名
5. 出席代議員数： 13名  
以下出席社員  
比企野 智子（NOVA新体操クラブ）  
高橋 美意子（CANDY.M.RG）  
中村 恵（Amelia）  
菊本 幸（ヒューマンRG）  
飯島 千果（ポップエンジェルRG）  
堤 祐子（Twinkle Star RG）  
本江 睦（マリン）  
河野 美香（NPOクレスト）  
岡本 さおり（アンジュ）  
北川 礼子（Stella R☆G）  
高橋 匡子（京都たかはし新体操クラブ）  
松坂 佳子（ヴェニエラRG）  
本田 美香（Rin RG）
6. 欠席代議員数： 8名  
以下欠席社員  
菊池 佳奈子（北上新体操クラブ）  
下野 里香（SATTE新体操クラブ）  
三浦 有紀子（PLANET）  
長野 美智代（Fierte）  
滝澤 廣美（シェリーR.G）  
美谷島 知子（フェアリーR.G.クラブ）  
安井 初子（RATU RG）  
安達 美佐（西福岡新体操クラブ）
7. 出席役員： 石崎 朔子（副会長）熊谷 正儀（副会長）関田史保子（副会長）  
池田真喜子（専務理事）山崎 浩子（常務理事）渡辺 守成（常務理事）  
秋山エリカ（理事）崇島 慎一（理事）谷口 裕代（理事）  
橋本 千波（理事）宮嶋 泰子（理事）村田 愛子（理事）  
守永 直人（理事）小島浩二郎（監事）
8. 欠席役員： 二木 英徳（会長）谷原 誠（理事）藤原 英則（理事）  
以上14名  
以上3名
9. 議案：  
決議事項  
第1号議案 令和元年度事業報告承認について（定款第4,12条関連事項）  
第2号議案 令和元年度収支決算報告承認について（定款第4,12条関連事項）  
第3号議案 定款変更の件（定款第12条関連事項）  
第4号議案 役員推薦委員会の件（定款第5,12,38条関連事項）  
第5号議案 その他

### 10. 議事の経過及び結果

#### (1) 議長選任

二木会長が欠席となったため、石崎朔子副会長が議長を務めることを議場に諮り、全会一致で承認された。

(2) 議長による開会宣言

議長を副会長石崎朔子が勤め、開会宣言を行った。

(3) 議事録署名人の選出

定款第 18 条により、議長は議事録署名人を石崎朔子副会長、小島浩二郎監事、山崎浩子常務理事と橋本千波理事にする事を議場に諮り承認された。

(4) 定足数の確認

定款第 17 条により総会出席者数 13 名であることが守永理事より告げられ、議決定足数を満たしている事が報告された。

(5) 議決事項

第 1 号議案 令和元年度・事業報告承認について（定款第 4, 12 条関連事項）

議長は説明者として守永直人理事を指名し、守永理事は下記内容の説明を行った。

1. 年間事業について

3 月に予定していた総会は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったが、他の事業は予定通り開催した。

2. 令和元年度登録状況報告について

令和元年度は

加盟団体数 577 団体

登録選手数 8,801 名

愛好者数 29,987 名

審判員数 1,254 名

指導者数 1,450 名

であった。AGG 事業を終了したことの影響が出ているが、新体操登録についてはほぼ同数となっている。

3. 「第 28 回全日本新体操クラブ選手権」について

8 月 16 日から 18 日に「高崎アリーナ」にて開催した。

参加者数は 252 クラブ 756 名と過去最高の参加者数であった

クラブ対抗はエンジェル RG カガワ日中が初優勝

シニアは喜田純玲選手、ジュニアは喜田未来乃選手がともに初優勝した。

2020 年度大会は新型コロナウイルス感染症の影響で中止とさせてもらった。この大会で得る予定だった全日本への出場権は、開催される他大会へ割り振り予定。イオンカップは第 28 回大会上位 3 クラブチームへ出場権を与える予定。

4. 「第 20 回全日本新体操クラブ団体選手権」について

8 月 30、31、9 月 1 日「高崎アリーナ」にて開催した。

参加者は 232 クラブチーム 1327 名が参加した。

団体徒手を開始したことにより過去最高の参加者数を集めた。

2020 年度大会は新型コロナウイルス感染症対策を施して開催する予定。

5. 「イオンカップ 2019 世界新体操クラブ選手権」について

大会は 10 月 25 日から 27 日にかけて「高崎アリーナ」にて開催した。

19 か国 21 チームの参加があった。ロシア・ガスパロムが 20 回連続 22 回目の優勝を飾った。

2020 年度のイオンカップは、世界各国の渡航制限等により、年内開催が難しく延期する。渡航状況、オリンピックの状況、体育館の状況等諸状況を見て開催判断の予定。

## 6. 「第 22 回全日本新体操チャイルド選手権」

### 「第 19 回全日本新体操キッズコンテスト」について

今回は 394 クラブ 854 名の参加者を集め、2 月 21 日から 23 日にかけて「高崎アリーナ」にて開催した。

新型コロナウイルス感染症の影響が出始めていた時期での開催であったが、2 月時点でとれるコロナ対策を取り、ほとんどの選手が参加し、また、新型コロナウイルス感染者を出すことなく大会を開催できた。

5・6 年生の部で「イオン」の馬場選手が、3・4 年生の部で「イオン新体操スクールマリンピア」の兵働選手がともに初優勝を成し遂げた。

以上の説明の後、議長は質疑、意見等を求めたが発言は無かった。

以上の後、第 1 号議案「令和元年度・事業報告承認」について全会一致可決された。

## 第 2 号議案「令和元年度・収支決算報告」について（定款第 4, 12 条関連事項）

議長は説明者として池田真喜子専務理事を指名し、池田専務理事は下記内容の説明を行った。

### 1. 収支決算

資料には令和元年度の予算と実績を記載しており、差異が出ているところを主に説明を行った。

#### 「収入」について

クラブ選手権、団体選手権で過去最高の参加者数、チャイルド選手権でもコロナウイルスに負けず多くの参加を得た。参加収入等増え、クラブ選手権 1683 万 9602 円、団体選手権 1481 万 7818 円、チャイルド選手権 2062 万 8361 円の増収となった。

その結果 年度収入が計 3 億 4016 万 5780 円となった。

#### 「イオンカップ支出」について

世界基準の進行、設営が必要であり、消費増税が響いたこと、全国的な宿泊費の高騰並びに、シードチームの渡航費負担が増したことなどにより予算より 300 万弱経費が増した。ただし、イオンカップ単体で見ると予算よりは減収となっているが、黒字を確保している。

#### 「国内大会支出」について

参加者が増加し収入も増えたが、お盆時期開催により宿泊費などが高くなったこと、参加人数増加に伴い、審判団が増えたこと、体育館の利用時間が増えたことや消費増税が響いた。また、チャイルド選手権においてはコロナ対策で予定外の支出あったことなどにより、クラブ選手権 1631 万 7553 円、団体選手権 1342 万 9575 円、チャイルド選手権 1908 万 9788 円の経費増となった。但し、これら大会もそれぞれを見ると、黒字を確保している。

その他はほぼ予算通りの執行でき、事業費計は 3 億 2290 万 659 円となった。

管理費もほぼ予算通りに執行でき、管理費と、事業費を合わせた事業活動支出計は 3 億 4113 万 5921 円となった。イオンカップの黒字減収分が響き、令和 2 年度の事業活動収支差額は 97 万 141 円のマイナスとなった。

### 2. 貸借対照表、財産目録

流動資産は現金・預金と、イオンカップのスポンサー費の入金遅れなどを含む未収入金が合わさり、1221万3233円。固定資産は前年と変わらず、2162万4056円。資産合計は3383万7289円となった。負債の部では税金・社会保険料などの預り金が57万7300円。チャイルド選手権等の支払いが期をまたぎ、未払い費用588万532円。645万7832円が流動負債となり、その他の負債がないことから、そのままの負債合計となり、資産から負債を引いた、2737万9457円が正味財産となった。

### 3. 監事承認

この決算内容は本連盟監事より、承認いただいていることを合わせて報告した。

以上の説明の後、議長は質疑、意見等を求めたが発言は無かった。

以上の後、第2号議案「令和元年度・収支決算報告承認」について全会一致可決された。

### 第3号議案「定款変更の件」について（定款第12条関連事項）

議長は説明者として池田真喜子専務理事を指名し、池田専務理事は下記内容の説明を行った。

コロナウイルスの影響で、日本の経済状況が落ち込んだことから登録クラブ数の減少、大会スポンサーの減少などが予想される。また、クラブ選手権が中止となったが、それ以外の大会開催を予定しているものの、先行きが不透明であることから今後の状況により、開催ができたとしても、コロナ対策を施して開催せざるを得ず、消毒液、マスク、警備員、体育館の利用延長等、経費の増加が考えられ、スポンサー減少、無観客によるチケット収入減、コロナ不安による参加数減など、収入減が見込まれる。

運営事務局としても、今回の件を危機的状況ととらえている。現在の試算では政府助成や経費削減を行ったとしても、あと数か月で手元資金が尽き、大幅な赤字が見込まれる

現在政府助成、借り入れも検討しているが、いつ手元に入ってくるかわからない。

よって、基本資産としている定期預金を解約し、手元資金を增強したく、定款の変更を提案したい。

提案理由は、定款33条は変えず、別表記載の基本財産を無としたい。

内閣府に確認した結果、社団法人は基本金を持つ必要がないことが解った。そこで、基本金を取り崩すことについても了承を得ている。

以上の説明の後、議長は質疑、意見等を求めたが発言は無かった。

以上の後、第3号議案「定款変更の件」について全会一致可決された。

### 第4号議案「役員推薦委員会の件」について（定款第5,12,38条関連事項）

議長は説明者として守永直人理事を指名し、守永理事は下記内容の説明を行った。

理事、監事、代議員の任期が規約で2年となっており、来年2021年6月予定の総会で任期終了となる。毎回改選の際に立ち上げている役員候補者推薦委員会を立ち上げたい。

委員会のメンバーは、規定で決められている二木会長と池田事務総長、残りの3名を副会長3名、石崎副会長、熊谷副会長、関田副会長にお願いしたい。

以上の説明の後、議長は質疑、意見等を求めたが発言は無かった。

以上の後、第4号議案「役員推薦委員会の件」について全会一致可決された。

第5号議案「その他」について

議長は議場にその他議案の提出を諮った。

宮嶋理事 新型コロナウイルス感染症の影響により、各スポーツクラブなどが困っているのを助成するために、7月1日に政府助成の案内が出る情報の情報を得た。後日加盟クラブにご案内し、活用してクラブの窮状を脱する手筈としてほしい。

池田専務理事 事前に質問、ご要望をいただいてことに対する現状からの回答差し上げたい。最初のご要望は監督会議をWeb会議でできないか、2番目が無観客開催となる場合、動画配信をしてはどうかとのご意見をいただいている。現在事務局でも検討している。ただ、大会がどのように開催できるか現時点では不透明なところがある。少し時間が欲しい。

次に登録完了用紙の選手の並び順を50音から、学年順に変更してほしいとのことであるが、他クラブでは50音順にしてほしいなどの意見が過去にあり、現方式にしている。システム等の改修など必要となるため、現状のままをご了解をいただきたい。

(5) 閉会宣言

議長は他に質問、意見がないのを確認し総会の終了を宣した。

この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事、監事及び指名議事録署名人は次に記名押印する。

令和2年6月25日

公益社団法人 日本新体操連盟 令和2年度第1回総会

議事録署名人（議長） 石 崎 朔 子

議事録署名人（出席監事） 小 島 浩二郎

議事録署名人（指名） 山 崎 浩 子

議事録署名人（指名） 橋 本 千 波